

車座談議の概要（富士見町自治会沼津駅周辺総合整備事業対策委員会）

- 1 日 時 平成 25 年 2 月 18 日（月） 13：30 ～ 15：30
- 2 場 所 富士見町公会堂
- 3 出席者 富士見町自治会沼津駅周辺総合整備事業対策委員会 6 人
沼津土木事務所都市計画課 3 人
- 4 主なご意見
 - ・ 鉄道高架が完成するまで 20 年も待ってられないので、まず区画整理の網を外し、高田踏切から日吉踏切までの道路も 2 車線と歩道を整備すればよく、27 メートルもある広い道路はいらない。
 - ・ 高架化では時間が掛かりすぎる。財政が厳しく人口も減少していく中で、時代に合った形で計画を見直していくことが必要である。
 - ・ 富士見町内の世帯数や小・中学校に通う子供の数が年々減ってきている。J R 官舎の住民が居なくなり街に活気が無くなった。J R 官舎が空き家であるのも防犯上良くない。
 - ・ 高架化で駅周辺の商業に賑わいが戻るのか。南北自由通路を早く建設すればよい。
 - ・ 市の財政は大丈夫なのか。高架の予算をもっと別な事業に振り向けてほしい。
 - ・ なぜ、P I に市が出てこないのか。市が出ないことで、県も市も逃げ場を作っているのではないか。
 - ・ 勉強会参加者に南北自由通路の他駅や車両基地、富士見町の実態を見てもらいたい。
 - ・ 高架ありきだと思っていたが、P I で公平に意見を聞いてくれているという印象を持った。P I 実施計画ではステップ 6 までを今年度中に行うことになっているが、途中で打ち切らないで欲しい。